

平成21年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1475500904	事業の開始年月日	平成18年3月1日	
		指定年月日	平成18年3月1日	
法人名	株式会社 ツクイ			
事業所名	ツクイたまプラーザサンフラワー			
所在地	(216-0011) 神奈川県川崎市宮前区犬蔵2-37-15			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成21年10月23日	評価結果 市町村受理日	平成22年3月31日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1475500904&SCD=320
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

たまプラーザサンフラワー独自の理念を作り上げています。職員全員が一つ一つ手作りで丁寧につくりあげました。又、自分の親が認知症になったらここに住ませたい、と、思えるような施設を目指しています。ここに住んでいる入居者の方の明るい笑顔が特徴です。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 クゲヌファースト 3階		
訪問調査日	平成21年11月27日	評価機関 評価決定日	平成22年2月9日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は田園都市線たまプラーザ駅から徒歩で15分、大きなマンションが立ち並ぶ静かな住宅街にあります。施設の理念に、利用者の意思を大切にし利用者の素直な気持ちに寄り添い、利用者と家族及び職員がともに協力し、安心できる生活を築くことをうたっています。形だけの取り繕いではなく、家族としてのホームづくりを目指しています。酒やたばこも利用者の意思を尊重します。職員はもし自身が認知症になった時どうしてもらいたいかを考えて、利用者に接するように心がけています。

毎月1回全職員が参加してケアカンファレンスを開催します。医師や看護師も参加して、利用者一人ひとりの介護計画に沿ったケアが実践されているかを話し合います。センター方式のアセスメントシートを活用し、利用者や家族の希望や意見の把握に努めています。3か月ごとにモニタリングを行い、個別介護計画の課題ごとに実情を評価し介護計画の見直しを行っています。

地域のホームに対する理解も進んできました。地域で行っているラジオ体操に地域住民と一緒に参加します。毎週道路のゴミ拾いを行っています。今年は町内会に加入し地域住民のホームに対する理解も進み、運営推進委員会に自治会も参加してくれるようになりました。散歩では利用者が気楽に地域住民に声をかけます。地域住民の一人としての利用者意識が進んでいる事が伺えます。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ツクイたまプラーザサンフラワー
ユニット名	すみれ

アウトカム項目	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)
	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)
	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)
	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)
	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)
	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)
	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)
	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)
	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)
	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)
	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)
	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。
	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。
	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を掲げています。事業所開設時に、職員全員が意見を出し合い作成しました。又、職員は利用者が慣れ親しんだ生活が送れるよう日々の暮らしを支援しています。	事業者独自の理念を掲げ地域とのつながりを大切にすることをうたっています。ケアカンファレンスで管理者と職員が理念に沿ったサービスを実践していることを確認しています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩や買い物では、地域の人たちとご利用者が親しくなり、会話を楽しんだり又一緒に朝のラジオ体操を行ったりしています。	町内会に加入し地域の事業所への理解に努めています。散歩時は利用者と住民とが気軽に声を掛け合っています。毎週金曜日に近くの公園で、利用者が地域住民と一緒にラジオ体操を行っています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ゴミ拾いなどの地域清掃活動を毎週行ったり、地域行事にも参加し、地域住民の事業所への理解を深めようと努力しています。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	積極的に声掛け、地域住民や自治会、地域包括支援センターなど多くの方が参加され、そこでの意見交換が実際のサービスに結びつき、サービスの向上が図れるよう取り組んでいます。	4か月ごとに運営推進会議を開催しています。今年は地域包括支援センターや自治会代表が出席するようになり、会議を通して事業所に対する地域理解が進んでいます。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	生活保護のご利用者について区のケースワーカーと連携を図りサービスの向上に取り組んでいます。	成年後見制度の一市長申立を行ったり、区のケースワーカーと連携し生活保護者への支援を行っています。運営推進会議を通して、区職員の事業所への理解が進んでいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束の廃止に関する理念や研修などで学び、各自気をつけながらケアを行っています。</p>	<p>契約書や運営規定に身体拘束の禁止を明記し、ケアの現場で職員が相互にチェックし身体拘束ゼロを実現しています。日中玄関の施錠をせず、利用者の外出行動に職員が注意深く見守っています。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修などで学び、尊厳や愛しみをもって細心の注意を払うよう心がけています。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見制度について、関係機関と話し合いを行いながらサービスの向上に努めています。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約において十分な説明を行い、理解が得られるよう取り組んでいます</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご利用者やご家族と日常的に連携を図り、意見や要望などのを取り入れるように心掛けています。</p>	<p>苦情対応マニュアルを整備し、重要事項説明書に苦情受付窓口を明記し、利用者・家族に周知しています。また、利用者・家族の意見・要望をカンファレンスで検討しサービス向上に活かしています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	より多くの職員の意見などが聞けるよう体制を整えています。	カンファレンスの場で管理者と職員が、今必要なことは何かについて意見を出し合います。家族アンケートでは100%の家族が職員が生き生きと活動していると答えています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の勤務状況の把握に努め、やりがいや向上心がもてるよう職場環境・条件の整備に努めています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月の研修やカンファレンスなどで勉強する機会を設けたり、法人外の研修も参加できるように取り組んでいます。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	研修などを通じて相互訪問を実施し、サービスの向上に取り組んでいます。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご利用者の不安や要望などを伺い、ご本人の馴染みの生活が維持できるよう心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にご利用者の不安や要望などを伺うと共に、ご家族の思いにも耳を傾けるよう心掛けています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスご利用開始前には事前に事業所の見学をしていただいたり、ご利用者宅に訪問し、直接お話しを伺いニーズの把握に努め、適切なサービスが得られるよう支援しています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	料理や掃除などご利用者から学ぶ事もあり、職員はご利用者への感謝の言葉を忘れず、共に支えあう関係作りに努めています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人ご家族の絆を大切に、いつでも面会ができます。又、家庭のような安心した生活が送れる様協力しあい共に支えていく関係作りに努めています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ここで共に生活している人たちが、大切な家族になりつつあります。又、電話でのやり取りや居室での談笑も気兼ねなくできるよう配慮しています。	入居時に利用者の生活状況やADLを把握し、居室の家具の配置など入居後の生活の継続に配慮しています。馴染みの人たちの訪問に快く対応し、馴染みの関係の維持に努めています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一緒にTVを見たり、ソファで寛いで楽しくおしゃべりをしたり、相性なども考慮しながら自然な関係作りに努めています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ここでのサービスが終了しても、不安のないように全職員が協力して相談に応じています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の暮らしの中で、個々の思いや希望などを伺うよう心がけ、又、情報の共有を図りながら支援しています。	センター方式のアセスメントシートを活用し、利用者の暮らしの情報把握等に努めています。利用者の現在の生活状況を維持することに視点を置いて、利用者の意向を確認し介護計画に反映しています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人ご家族からお話を伺い、今までの生活が維持できるよう馴染みの布団やベッド、筆筒などを置いて居心地良く過ごせるよう配慮しています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝夕のバイタル測定時に、会話をしながら、心身の状態把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人のより良いケアのために、ご家族や必要な医療機関とも連絡を取り合い話し合いながらモニタリングや介護計画の作成を行っています。	ケアカンファレンスに医師や看護師が出席し、利用者ごとの個別条件を検討し介護計画に反映しています。3か月ごとにモニタリングを行い、課題ごとに達成状況进行评估し介護計画を見直しています。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は個別のケア記録があり、それに基づいて申し送りをしていま。又、情報共有ノートも活用しています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	地域包括支援センターと連携を図りながら、柔軟な対応ができるよう前向きに取り組んでいきたいと思っています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域包括支援センターと連携を図りながら、柔軟な対応ができるよう前向きに取り組んでいきたいと思っています。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回定期的に往診があり風邪や発熱など早期に対応できるよう連携を取り、又必要に応じて専門病院への紹介も行っています。	本人、家族の同意の下、協力医による月2回の訪問診療のほか本人の希望する医療機関への受診支援をしています。また、本人の希望する医師の訪問診療も受けています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	申し送りや医療ノートの活用で適切な対応が図れるよう支援しています。		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	病院関係者と必要な情報の交換を行いながら、協力体制に努めています。		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	ご本人やご家族の思いを大切にしたいと思っています今、このグループホームの課題として前向きに取り組んでいきたいと考えています。	重度化した場合の対応の方針ができていないことについては、事業所の課題としてとらえ、前向きな姿勢が見られます。	重度化した場合に、事業所が対応する上で何がどこまでできて何ができないかを見極めて、重度化した場合の対応方針を検討することが期待されます。
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急事の対応マニュアルがとっさの時にも活用できるよう研修や訓練の実施を定期的に行い、実践力が身に付くよう心掛けたいと思います。		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	火災などを想定した消防訓練を2回/年行っています。	利用者、職員及び消防機関の参加を得て避難訓練を定期的実施しています。運営推進会議にも消防に関する地域との連携について話し合いが行われています。備蓄も行っていきます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けや態度に気をつけながら対応しています。	入居者の誇り、プライバシーを損なわないように日常の声掛け、態度に気をつけています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話しかけや問いかけの仕方を工夫したり、言いやすい雰囲気を考えて支援しています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人の体調や気分など希望や要望に合わせてるように配慮しています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	鏡に向う時間を大切にしながら、訪問理美容の活用も行っていきます。マニキュアなどおしゃれすると表情まで明るくなっています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付けなどを一緒に行ったり、又、一緒に回転寿司へ行き、好きなネタを選んだり、天ぷらやケーキやビールなどを食べ楽しく過ごすこともあります。	施設内では入居者と職員は家族の1人であるという意識をもって楽しい食事ができるように支援しています。誕生会、運動会、花見などの行事には弁当や出前、外食が喜ばれています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々のバイタルシートがあり、食事量や水分摂取量などが記入でき、その時々に応じた対応を心掛けています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入歯の洗浄や声掛けを行っています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	その人の排泄パターンを把握し、個々に声掛けを行います。	排泄チェックシートを活用し利用者の排泄パターンを把握し、職員が利用者に声かけを行いトイレに誘導します。利用者が自分の意思で行動できるように支援しています。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	なるべく体を動かすよう散歩をしたり、排泄パターンの把握に努めヨーグルトや牛乳などを摂るよう心掛けています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	その日の体調もあり、個々の希望に応じた入浴ができるよう支援しています。	入浴チェックシートに入浴情報を記録しています。週に2回の入浴を基本にして、柚子湯などで工夫し楽しんでもらいます。入浴を嫌がる人には無理強いせず、部分浴を勧めるなど工夫しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	天気の良い日には、布団やシーツを干したり、気持ちよく過ごせるよう支援しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療ノートを活用や薬局の薬剤師さんから注意事項や看護師さんのアドバイスを受けながら服薬支援を行なっています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人の得意な事や習慣を大切にしながら調理や掃除などを行い、笑顔で生活できるよう工夫しています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来る限り希望に添えるよう努めています。時には、ご家族と一緒に出かけたりもしています。	毎日散歩に出る人もいます。毎週近くの公園でのラジオ体操に参加しています。買物や外食をして楽しんだり、季節ごとに公園に花見にいたり外出の機会を多くしています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	近くのスーパーやコンビニで買い物したりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙などで交流が図れるよう支援しています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしています。	季節の草花を窓辺に置いたり、壁には、季節感が感じられるものを展示して楽しく過ごせるよう工夫しています。	リビングに接し畳敷きのスペースがあり、いつでも寛ぐことができます。トイレや浴室は清潔で手すり等安全に配慮しています。2階へのエレベータも車椅子利用の安全性に配慮したものとなっています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う人と一緒に話をしたり、近くにあるソファやイスに腰掛けておしゃべりしたりしています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使っていた馴染みの家具を持ってきていただき自宅と同じように寛げるよう工夫しています。	利用者の馴染みのタンスや置物を持ち込んでいます。生活の継続に配慮し、家具や家族写真など安心して寛げるようにしています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーになっており手すりの設置やトイレの提示など、できることやわかることの維持継続が図れるよう支援しています。		

事業所名	ツクイたまプラーザサンフラワー
ユニット名	すずらん

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を掲げています。事業所開設時に、職員全員が意見を出し合い作成しました。又、職員の親も入居させたいような事業所を目指して頑張っています。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩や買い物では、地域の人たちとご利用者が親しくなり、会話を楽しんだりしています。又、地域の人たちと一緒に朝のラジオ体操を行い交流を図っています		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ゴミ拾いなどの地域清掃活動を毎週行なったり、地域行事にも参加し、地域住民の事業所への理解を深めようと努力しています。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	積極的に声掛け、地域住民や自治会、地域包括支援センターなど多くの方が参加され、そこでの意見交換が実際のサービスに結びつき、サービスの向上が図れるよう取り組んでいます。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	生活保護のご利用者について区のケースワーカーと連携を図りサービスの向上に取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>研修で学び、玄関の施錠もせず、ご利用者の自由意志を尊重するよう心掛けています。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>言葉による虐待も含め、細心の注意を払っています。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見制度について話し合い、実際に活用しています。今後もさらに学ぶ機会を設けより良いサービスの向上に努めたいと思っています。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約において十分な説明を行い、理解が得られるよう取り組んでいます</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見や要望などが表出しやすいよう、ご利用者やご家族との連携を図っています</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	より多くの職員の意見や要望などを聞くよう心掛けています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の勤務状況の把握に努め、やりがいや向上心がもてるよう職場環境・条件の整備に努めています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月の研修やカンファレンスなどで勉強する機会を設けたり、法人外の研修も参加できるよう取り組んでいます。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	研修などを通じて相互訪問を実施し、サービスの向上に取り組んでいます。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に事前見学や自宅訪問調査時の記録をふまえて不安のないよう話しやすい環境づくりやご本人の思いを受け止めるよう努力しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の事前相談や自宅訪問時にご本人ご家族それぞれのお話を伺い要望などを取り入れています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の事前相談や自宅訪問時にご本人ご家族それぞれのお話を伺いニーズを把握し、適切なサービスの導入が図れるよう対応しています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除・洗濯干しやたたんだり、調理や縫い物など得意なことは気持ちよく協力していただいています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	納涼祭などの行事時には、ご本人ご家族そして職員が一緒になって作り上げて楽しんだりしています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	今までの馴染みの人たちの訪問も気持ち良く対応して関係作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	互いに行き来しあい、一緒にTVを見たり、おしゃべりをしたり、ご飯のときには、気軽に声掛けあったりしながら交流を図っています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ここでのサービスが終了しても、不安のないよう職員が協力して対応しています		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の暮らしの中で、個々の思いや暮らし方などを把握し、又、それが生かされるよう支援しています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人ご家族からお話を伺い、今までの生活が維持できるよう馴染みの布団やベッド、筆筒、仏壇などを置いて居心地良く過ごせるよう配慮しています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝夕のバイタル測定時に、対話をしながら、心身の状態把握に努め、申し送り時に職員間で情報を共有しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人ご家族や職員及び医療従事者などと連携を取りながら、介護計画を作成しています。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録に日々の様子を記載し、常に情報を共有しながら職員間でケアの展開を図っています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	地域包括支援センターと連携を図りながら、柔軟な対応ができるよう前向きに取り組んでいきたいと思っています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域包括支援センターと連携を図りながら、柔軟な対応ができるよう前向きに取り組んでいきたいと思っています。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回定期的に往診があり風邪や発熱など早期に対応できるよう連携を取り、又必要に応じて専門病院への紹介も行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>申し送りや医療ノートの活用で適切な対応が図れるよう支援しています。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院関係者と必要な情報の交換を行いながら、協力体制に努めています。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ご本人やご家族の思いを大切にしたいと思っています今、このグループホームの課題として前向きに取り組んでいきたいと考えています。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急事の対応マニュアルがとっさの時にも活用できるよう研修や訓練の実施を定期的に行い、実践力が身に付くよう心掛けたいと思います。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災などを想定した消防訓練を2回/年行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けや態度に気をつけながら誇りやプライバシーを損ねないよう気をつけています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話しかけや問いかけの仕方を工夫したり、言いやすい雰囲気を考え、主体はご利用者であることを意識しながら支援しています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人の体調や気分など希望や要望に合わせてるように配慮しながら支援しています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	長年、マッサージやスキンケアなどお肌のお手入れをしっかりとされる人やマニキュアが好きな人などそれぞれの好みに対応しながら生き生きと生活されています		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ほぼ毎食ご利用者と一緒に食事の準備や片付けなどを行っています。又、時には好きなものを好きなだけ自由に食べられるよう外食をして楽しんでいます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々のバイタルシートがあり、食事量や水分摂取量などが記入でき、その時々に応じた対応を心掛けています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入歯の洗浄消毒や口腔ケアの声掛けに努めています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	その人の排泄パターンを把握し、個々に声掛けや誘導を行い自立支援に努めています。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	なるべく体を動かすよう散歩をしたり、排泄パターンの把握に努めヨーグルトや牛乳などを摂るよう心掛けています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	その日の体調もあり、無理なく気持ちよく入浴ができるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	天気の良い日には、布団やシーツを干したり、気持ちよく過ごせるよう支援しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療ノートを活用や薬局の薬剤師さんから注意事項や看護師さんのアドバイスを受けながら服薬支援を行なっています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の趣味や習慣を大切にして、縫い物や編み物で充実した時を過ごしています		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来る限り希望に添えるよう努めています。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	近くのスーパーやコンビニで買い物したりしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙などで交流が図れるよう支援しています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の草花を窓辺に置いたり、壁には、季節感が感じられるものを展示して楽しく明るく過ごせるよう配慮しています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う人と一緒に話したり、近くにあるソファやイスに腰掛けておしゃべりしたりしています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使っていた馴染みの家具を持ってきていただき自宅と同じように寛げるよう工夫しています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	掃除、洗濯干し、お勝手などご利用者が生きがいをもって出来る事を職員と共に楽しく行うよう工夫しています。		

目標達成計画

作成日：平成 22 年 3 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		サービスの維持向上	その人らしい暮らし	1回/月 職員研修・カンファレンスの実施	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。